

対人地雷禁止条約第1回プレッジング会合  
(我が方ステートメント (要旨))

平成28年2月26日  
通常兵器室

- 1 今次プレッジング会合を主催したチリのイニシアティブに感謝。
  
- 2 我が国は、対人地雷禁止条約の締約国として、また、地雷がもたらす様々な問題に対処し、人間の安全保障を確保する観点から、現場における対人地雷除去や犠牲者支援等の地雷対策支援の強化を推進。1998年以降2015年3月まで、50か国及び地域に対し、総額約6億2200万ドルの支援を供与。
  
- 3 条約発効後、締約国によって貯蔵対人地雷及び敷設対人地雷はそれぞれ着実に廃棄・除去されてきており、対人地雷問題対処において本条約がこれまで果たしてきた重要な役割を高く評価。
  
- 4 他方で、地雷のない世界の実現に向けて依然課題が残されているところ、国際社会は本条約の実施を通じて対人地雷問題に一層取り組んでいくことが必要。
  
- 5 我が国は、条約実施の観点から、ISUの果たす役割を重視しており、今般、国会の承認を前提に、ISU経費として、平成28年度予算で約79,700スイス・フランの任意拠出金を出すべく国会での承認をはじめとする国内手続き中であることを表明する。他の締約国に対してもISUへの拠出を奨励したい。

(了)